

報告Ⅱ 神戸交通振興(株)の解散について

1. 解散の理由

- ・ 駅前の魅力向上等のため、地下鉄沿線駅周辺の不動産の管理運営者を(株)OMこうべに集約することで、神戸市全体のまちづくり関連業務の一元化を推進する。
- ・ それを踏まえ、地下鉄駅ビル管理等の不動産業務を除いた場合の今後の経営見通しや民間事業者による代替性等を考慮した結果、解散を決定。

2. 今後の各業務の対応方針

業務内容	対応
・ 駅ビル管理等の不動産業務 (駅ビル・駅構内事業等)	・ (株)OMこうべに不動産業務を集約 ※神戸交通振興(株)所有の建物については、交通局が取得
・ シティー・ループ ・ 山手線 ・ 山麓線 (市バス7系統と共同運行)	・ シティー・ループ、山手線は事業者公募の上、民間事業者に移譲 ・ 山麓線は交通局により運行
・ 地下鉄駅務業務 (西神・山手線、海岸線)	・ 事業者公募の上、民間事業者へ委託
・ 市バス車両整備業務 (車両工場、直営3営業所車庫)	・ 市バス整備部門に統合し、直営化
・ 定期券発売所 (三宮・神戸・新長田・名谷) ・ 広告事業	・ 事業者公募の上、民間事業者へ委託

(参考)

魚崎営業所管理委託業務

令和4年3月末で委託期間満了
提案公募により次期委託候補は阪急バス(株)に決定済

3. 今後のスケジュール

- ・ 令和3年10月上旬：シティー・ループや駅務業務等についての公募を開始
- ・ 令和3年12月下旬：シティー・ループや駅務業務等の次期事業者決定
- ・ 令和4年3月末：神戸交通振興(株)による各業務の終了
- ・ 令和4年4月1日：次期事業者等による業務の開始
- ・ 令和4年4月末：解散、清算開始